

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年12月17日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜工業高校 記念館 大会議室  
開催にあたり、生徒による「生徒研究発表会」を見学していただいた。
- 4 参加者
- |     |       |               |
|-----|-------|---------------|
| 委員  | 安藤 博之 | 岐阜工業高校育友会副会長  |
| 委員  | 亀井 孝宏 | (株)光製作所 総務部長  |
| 委員  | 田島 安子 | 地域住民          |
| 委員  | 山田 愛子 | 地域住民          |
| 委員  | 横山 克徳 | 岐阜工業高校同窓会 副会長 |
| 委員  | 渡邊 伸一 | 名古屋鉄道(株)笠松駅長  |
| 学校側 | 堀 秀樹  | 校長            |
|     | 関谷 博子 | 事務部長          |
|     | 渡部 彰規 | 副校長           |
|     | 永瀬 直哉 | 教頭            |
|     | 岩口 一平 | 教頭            |
|     | 関口 健  | 教務主任(全日制)     |
|     | 高橋 宏幸 | 教務主任(定時制)     |
|     | 山口 敦  | 生徒支援主事        |
|     | 増井勇一郎 | 進路支援部長        |
|     | 草壁 善則 | 工業教育部長        |
|     | 小澤 智也 | 研修主事          |

## 5 会議の概要(協議事項)

- 令和6年度 学校評価アンケートの結果及び分析・対策について
- 令和6年度 岐阜工業高校(全日制)学校行事の取組について  
・運動会と文化祭について
- 令和6年度 地域産業の担い手育成総合戦略事業の進捗状況について  
・あいち技能五輪・アビリンピック2024への見学ツアーについて  
・その他の取組について
- 令和6年度の進路状況
- トピックス

生徒研究発表会の感想を含めたご意見

意見 1：運動会と文化祭に参加させてもらったが、生徒の笑顔が輝いていた。

モノづくりのための環境は素晴らしい。

子どもの数が減ってきている時代では、工夫が必要となる。ネットの利用も工夫できれば、生徒を集める手段の一つになることも考えるとよいのではないかと。

意見 2：本校卒業生だが、当時は高校を卒業する前に論文を書いて発表していた。本日見学した「生徒研究発表会」は企業の方や学校外の方々も多くみえていて、とてもよい機会だと感じた。

意見 3：自分自身は、普通科高校を卒業したため、工業高校の様子を初めて見る事ができた。専門的なことが多くて、一般人にはわからない部分もあるのだろうが、生徒が伸び伸びと楽しそうに取り組んでいる姿から、面白い学校なんだろうなあ…と感じることができた。

駅構内でスマホを触りながら歩く生徒がたまにいる。駅の構内では危険なので、やめていただくよう、校内でも啓発していただきたい。→ 生徒支援部からも啓発する。

意見 4：生徒のモチベーションを高く、維持されていることに感動した。

生徒それぞれが、いろんなものを製作しているが、自分が製作したものを他者に説明することはすごく大切で、意味がある研究発表会になっていると感じた。

スクールミッションに関係してくると思うが、基礎的な「技術力」が身に付く学校であってほしいと願っている。

近隣にある会社なので、これからも岐阜工業高校と連携しながら関係を大切にしていきたい。

意見 5：生徒研究発表会での生徒の生き生きとしている姿がうれしかった。

意見 6：購買での様子を見てみると、今の岐工高の生徒はやさしい。コミュニケーションもきちんと取ろうとしているように見えている。生徒研究発表会でもきちんと説明しようと意欲的に説明している姿がうれしかった。

自分自身は普通科高校を卒業したが、手に職をもった「技術」が身に付いていることが強いということが、大人になってから分かった。是非、今身に付けられる「技術」を身に付けてほしい。

近隣の小学校と高校は「出前授業」の形で交流がある。実際の交流を近隣の中学校とやると、さらに岐阜工業高校の「宣伝」の場となり、効果的だと考える。

6. 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会で、「学校評価アンケートの結果・分析及び対策」を説明した。ここから令和7年度へ向けた準備が始まると考える。「地域産業担い手育成総合戦略事業」が岐阜工業高校の特色を増やしていくことにつながると感じた。また「スクールミッション」についても再検討いただいた。全委員より「スクールミッション」について承認が得られた。